

会 議 録

| | |
|-------------------|---|
| 会議の名称 | 見沼中学校区義務教育学校開校準備委員会 第6回通学部会 |
| 開催日時 | 令和2年8月21日(金) 開会：午後6時30分・閉会：午後7時45分 |
| 開催場所 | 総合福祉会館 第3研修室 |
| 出席者 (委員) 氏名 | 草野和文、吉永孝、森田裕也、大久保明浩、新藤雄作、長島宏、 永沼竹彦、木元貞夫、清水乃理子、鈴木道子、高澤美香、武井理 |
| 欠席者 (委員) 氏名 | 青木仁 |
| 事務局 | 諸貫学校教育部次長、久積、藤野 |
| 会議内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スクールバスの利用基準 2. 通学に関するアンケート |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 通学に関するアンケートの実施方法(案) ・資料2 スクールバスの運行に関するアンケート(北河原小学校用、荒木小学校用、須加小学校用) ・資料3 スクールバスの運行(遠距離通学支援)について(素案) |
| その他必要事項 | 傍聴者なし |

| 発 言 者 | 会議の経過（議題・発言内容・結論等） |
|-------|---|
| 事務局 | 開会 |
| 部会長 | あいさつ |
| 部会長 | さっそくだが、協議に入らせていただく。事務局より説明をお願いする。 |
| 事務局 | <p>前回の会議録については、委員の皆様を確認いただきたい。訂正箇所等なければ各部会で確認後ホームページ等に公開させていただく。それでは継続協議となっていたスクールバス利用基準の須加11区について説明させていただく。須加11区については、概ね2kmにかかる家庭があることから、部会において、協議を重ねてきた。従来、徒歩で通学する通学班については自治会や地区の単位としてきておるが、ならばスクールバスの利用基準についても、概ね2kmの部分で線を引くのではなく、ある程度自治会や地区単位で基準を設定する必要がある。この点については理解が得られると考える。須加11区の児童を1つのまとまりとしてスクールバス通学とした場合、隣接する荒木地区はどうなるのかという部分は事務局として悩む部分である。現在この地域から2名の児童が通っており、離れた集合場所で通学班に合流し、通学している状況である。今後運用面で配慮する必要がでてくるかもしれないが、通学部会においてスクールバスの利用基準を設定するにあたりこの地域を切り離して考えないと新しい学校で統一的な基準を設定すること、再編成計画においてスクールバスを出すことについて「再編成により通学距離が長くなる場合」という部分について荒木地区のこの地域を基準で乗せるということになるとこの2点の基本的な部分が崩れていくことになる。この部分を考慮し、通学部会において須加11区の取扱いを協議していただきたい。</p> |

| | |
|------|--|
| 部会長 | <p>継続協議となっている須加 1 1 区のスクールバスの利用基準について事務局から利用基準を設定するにあたっては、須加 1 1 区と隣接する荒木の地域は切り離して考えてはどうかという提案があった。意見はあるか。</p> |
| A 委員 | <p>荒木地区の児童は須加 1 1 区の児童と一緒にスクールバスで通学するというのか。</p> |
| 事務局 | <p>そのような考え方もあるが、須加 1 1 区はおおむね 2 km を越えていない。荒木地区は越えていない。しかし将来的に児童が 1 人あるいは低学年の場合考えていかななくてはならない。事務局としては、利用基準の区切りを決めたいと考える。最初は荒木地区と一体で考えていたが、須加地区の要望もあり概ね 2 km というところで区切るのはどうかという考えである。</p> |
| A 委員 | <p>現在は須加地区と荒木地区は分かれているが、地域性を考慮すれば一体で考えた方がよいのではないか。</p> |
| 部会長 | <p>利用基準としては統一基準を作りたい。ただし荒木地区の該当する児童は現在 2 名いるということで運用という形で考慮していただけないということではよろしいか。また基準としては他の地域との兼ね合いもあるので概ね 2 km という統一的な基準を設定したいということではよろしいか。</p> |
| 事務局 | <p>ルートとして通っているところを運用はできるが、通っていないところは難しいのではないかと思う。運用の基準もバスの路線から決め、納得できる理由があれば利用基準を定めた上、運用面でやっていくのがよいのではないか。</p> |
| 部会長 | <p>事務局より須加 1 1 区と荒木地区の児童 2 名については分けて考え、荒木地区の児童 2 名は運用面で考えていくということで考慮していただけないことだが荒木小学校区はどうか。</p> |
| B 委員 | <p>前回配布の資料 1 スクールバス運行ルート(案)の 2 km の円から出ている白川戸地区はバスの運行ルートから外れているがバスに乗れないのか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>事務局で通学距離を測ったところ須加11区と白川戸地区はほぼ同じ距離である。今まで須加11区をバスに乗せるかということで協議してきた。バスの運行ルートには白川戸地区は入っていないが、今後はその地域において児童が1人しかいない場合などは考えていかななくてはならない。該当箇所は柳坪というところで令和4年時は4年、5年、6年の児童がいる。低学年の場合は考えなくてはならない。</p> |
| C委員 | <p>その年に要望を出して通るものか。白川戸地区もバスを出してほしいと言った時に、バスは出せるのか。</p> |
| 事務局 | <p>開校前の通学部会で利用基準を決め、開校後のバスの運行についてはPTAで協議していきたい。その年の白川戸地区の児童のためにバスを1台増やすとなると、次の年はどうするかという問題がある。バスが空いていたり、運行ダイヤにゆとりがあれば運用できるかと思う。</p> |
| D委員 | <p>現時点での基準ということだが、低学年だからだめ、高学年だから大丈夫ということではなくて子供の安心安全を考えて、今後の状況を見て要相談ということで対応していただくという理解でよろしいか。</p> |
| 事務局 | <p>利用基準を皆さんに提示するということで、概ね2kmというところを決めたい。通学部会において将来児童生徒数の減少によって安全確保が難しい時は個別に対応していくこととしたい。</p> |
| 部会長 | <p>事務局より説明があったが、須加11区については概ね2kmということで利用基準の線を引き、荒木小学校区で11区に隣接している児童2名については運用で対応するということ、白川戸地域については子供たちの安心安全を考えた時には運用で対応するということが通学部会において決定したということによろしいか。</p> |
| 部会長 | <p>(承認)</p> <p>承認をいただいたので通学部会において決定とする。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>(資料配布)</p> <p>それでは配布させていただいた資料の説明に入る。概ね2 km、個別については対応するという事で通学部会において承認をいただいたところだが通学部会の素案として周知し、通学方法の聞き取りということでアンケートをしたいと考えている。配布した資料は資料1 通学に関するアンケートの実施方法(案)、資料2 通学に関する3校それぞれのアンケート、資料3 スクールバスの運行(遠距離通学支援)について(素案)になる。資料の中で「遠距離通学支援」という馴染みのない言葉を何箇所かで使用している。スクールバスは再編成により通学距離が長くなり徒歩通学が困難な児童を支援するものというのが伝わりやすい言葉ではないかと思い、アンケートで使用している。</p> <p>(資料1～3説明)</p> |
| 部会長 | <p>アンケート、資料について意見をいただきたい。</p> <p>資料1の通学に関するアンケートの実施方法(案)については委員の方向けの資料となる。まず目的としては保護者に周知すること、通学における保護者の心配な点を把握するという事、スクールバスの利用に関して保護者の意向を確認することである。この3つの目的をもって実施するという事である。調査期間は未定、調査対象は記載の通りである。令和4年度に入学する児童の保護者、荒木小学校、須加小学校については小学校1年生から4年生、北河原小学校については中学生のスクールバスの利用に関する設問があるため全児童の保護者ということになる。令和4年度に入学する保護者については就学時健診において学校からアンケートを配布し郵送で教育委員会宛てに送ってもらい、意向を把握するという事である。アンケート項目については3校共</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>通およびそれぞれの学校区における質問事項となっている。資料 1 について何か質問等あるか。</p> <p>(発言なし)</p> |
| 部会長 | <p>次に資料 2 である。左側は保護者向けの依頼文である。何か質問等あるか。</p> <p>(発言なし)</p> |
| 部会長 | <p>次に右側である。学校区によって設問が異なる部分もある。北河原小学校区はどうか。</p> <p>(発言なし)</p> |
| 部会長 | <p>須加小学校区はどうか。</p> <p>(発言なし)</p> |
| 部会長 | <p>荒木小学校区はどうか。</p> <p>(発言なし)</p> |
| 部会長 | <p>1 - 問 1 から問 3 については原案の通りで確認をさせていただく。2 の設問も学校区によって異なるため確認いただきたい。</p> |
| A 委員 | <p>須加集会所の停留所というのは県道沿いのところか。須加集会所まで入ってもらえないのか。</p> |
| 事務局 | <p>県道沿いである。市内循環バスのバス停と同じところである。</p> |
| E 委員 | <p>須加集会所まで入らないと危ないのではないか。県道は交通量が多い。</p> |
| A 委員 | <p>下校時のルートは逆方向なのか。</p> |
| E 委員 | <p>下中条ルートはバス停が 2 箇所である。須加ルートはバス停が多い。分けたらどうか。</p> |
| 事務局 | <p>下中条も須加も人数は同じである。今後は下中条ルートと荒木の停留所を結ぶことを検討している。</p> |
| F 委員 | <p>A - ②北河原だが、県道を挟んで北側と南側に停留所がある。岡田医院を出て南河原経由で A - ②北河原に行くとする、地図通り北側のバス停を使用しないと、交通量が多いので危ない。</p> |
| 事務局 | <p>A - ⑥酒巻東、A - ⑤酒巻西から A - ①岡田医院に行くこと</p> |

| | |
|-----|--|
| 部会長 | <p>で、帰りも北側のバス停を利用することが出来ると思う。</p> <p>登下校それぞれのルートについては安全面を考慮し、考えていくということでご理解いただきたい。</p> |
| C委員 | <p>白川戸地区の方にスクールバスの利用についてアンケートで聞くのか。</p> |
| 事務局 | <p>通学路について心配な点ということで記載してもらえると考えているがどうか。自治会を聞いているので住んでいる自治会ごとにどういう意見が出るのか把握できると思う。</p> |
| C委員 | <p>もっと限定的に聞く方が分かりやすいのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>開校当時はバスの定員もあるため、今の段階でスクールバスを出せないところに設問を作るのは難しい。地域の保護者から安全が確保できないという意見が出てくれば対応したいと思う。</p> |
| C委員 | <p>スクールバスは使えない前提なのか。</p> |
| 事務局 | <p>現在開校時の使用は考えていない。</p> |
| D委員 | <p>運用や相談で対応できるという話だったが、そもそもルートに入っていない。実際に相談した時にどこまで対応できるのかという点、白川戸地区の方に聞いていないので徒歩通学できるというかもしれないし、やはりスクールバスを利用したいというかもしれない。事前に考えを聞いておいた方がよいのではないかと思う。</p> |
| 事務局 | <p>設問2-2スクールバスについての項目を設問1全ての保護者の皆さんにお伺いしますに入れてスクールバスの素案について聞くのはどうか。</p> |
| C委員 | <p>このルートだけを見てしまうと白川戸地区の方は該当してないのだと思ってしまう。</p> |
| 事務局 | <p>白川戸地区は令和4年時はルートに入っていないのでバスの利用は難しい。また白川戸地区は将来的に停留所を設置する場合、どこに設置するのかという課題もある。一定の地域にスクールバスを利用したいか聞くのは難しいと考える。</p> |

| | |
|-------------|---|
| E 委員 部会長 | <p>該当していない白川戸地区の人にも意見を聞くということか。</p> <p>荒木小学校区の設問において、設問 2 - 2 を設問 1 - 4 とし、全ての保護者にスクールバスの運行ルート of 素案について意見を聞くということによろしいか。</p> <p>(承認)</p> |
| A 委員 | <p>白川戸地区の方からスクールバスを利用したいという意見が出てきた場合、対応できるか。</p> |
| 事務局 | <p>令和 4 年時では、対応できないと思う。なおアンケート結果については公表したいと思う。</p> |
| 部会長 | <p>北河原小学校区では県道を挟んで北側と南側にある停留所については北側とし、登下校についてルートを見直すということで考慮いただけるということだった。須加小学校区について須加集会所入口についてはどうするか。</p> |
| 事務局 | <p>スクールバスのルートとして U ターンすることなく設定したい。アンケートの時点では県道沿いに設置ということで今後検討していきたい。</p> |
| A 委員 | <p>バスのサイズは決まっているのか。</p> |
| 事務局 | <p>マイクロバスである。</p> |
| 部会長 | <p>アンケートの時は原案の通りでよろしいか。荒木小学校区では設問 2 - 2 を設問 1 - 4 に持っていき、すべての保護者にも意見を聞くということによろしいか。</p> <p>(承認)</p> |
| 部会長 | <p>では資料 3 スクールバスの運行ルートについての素案および裏面についてはどうか。懸案となっていた荒木六本木については事務局と荒木小学校の P T A 役員とで確認し、循環バスの停留所である荒木六本木が提示してある。意見はあるか。</p> <p>(承認)</p> |
| 部会長 | <p>原案の通り進める。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>(まとめ)</p> <p>(承認)</p> <p>調査期間については9月に配布して10月に回収し、学校については10月初めに集まると思うが、未就学児については10月末まで回収がかかるのではないかと思う。よって全体として調査期間は9月1日から10月30日までとするが、学校提出分は9月末までとし部会長、学校長と調整していきたい。</p> <p>次回の会議日程については、10月21日(水)18時30分より総合福社会館 第3研修室とする。</p> <p>なお、アンケートについては集計出来た分だけ提示したい。</p> <p>閉会</p> |
|-----|---|